



室蘭・海星学院高 傾聴ボランティア

岩手県釜石市に派遣される海星学院の生徒たち

## 生徒5人が釜石市へ

室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、237人)の1、2年生5人は7月5～9日の日程で、東日本大震災被災地の岩手県釜石市でボランティア活動を行う。21日に青山剛市長を表敬訪問し、それぞれが意気込みを語っていた。

派遣されるのは池田安里さん(1年)、小森萌華さん(2年)、有路華さん(同)、藤原涼真さん(同)、平川真衣さん(同)の5人。校内選考を通過して選ばれた。7月5日に室蘭を出発。現地では被災者の話を聞く傾聴ボランティアに従事する。

(池田勇人)

市長に会った5人は「とても貴重な機会なので感謝の気持ちを忘れずに励みたい」「学校の代表として現地の人と有益な時間を過ごしたい」とそれぞれ抱負を語った。青山市長は「全員が室蘭の親善大使という気持ちをお忘れず、自分のペースで活動に取り組んでほしい」と激励していた。